

第12回デジタル田園都市国家構想実現会議

委員名:野田 由美子

デジタル田園都市国家構想総合戦略の実行について、以下コメントさせていただきます。

1. 各省庁の施策の効果的推進のガバナンス

各省庁で本総合戦略を推進する施策を実施いただいているが、例えば自動運転の推進等、複数の省庁の施策が重なる分野がある。取組みの重複や地域での混乱が生じないように、施策毎の責任者ならびに役割分担を明確にして、これらの重点分野の取組みが、効果的かつ効率的に推進されるようなガバナンスの導入が必要であると考えます。

2. 広域の自治体間連携の促進

今後の進め方として、施策間連携や地域間連携に係る取組に重点を置くとしていることは、重要な視点である。特に、広域の自治体間の連携による取組みを積極的に支援いただきたい。第11回会議でも申し上げたが、真の地方創生には、地方において持続可能かつ魅力的な仕事が創造されることが必要であり、広域の自治体間の連携による価値創出が有効と考える。

また、すでに、モデル地域ビジョンの取組や、デジ田甲子園出場の取組等、全国で好事例が多く生まれている。これら好事例の他地域への早期の横展開を強力に支援するとともに、個々の自治体による取組みだけでなく、一定規模の地域での面の取組みも促進すべきである。例えば、モビリティサービスや地域通貨ポイントは、一定規模の地域で展開することに効果がある。従って、好事例を面の横展開につなげるような、国の仕組みを構築して進めていただきたい。

以上